



協会ニュース

第14号

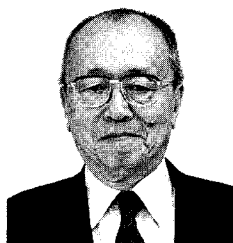
平成14年1月25日発行

編集発行人/志村 肇 〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町15-17(日本基礎技術株式会社内) TEL (03)3476-5721 FAX (03)5489-7822
[ホームページURL] <http://www7.ocn.ne.jp/rta/>

年頭にあたって

岩盤削孔技術協会会長

三谷 健



明けましておめでとうございます。

一応、新年の挨拶を申し上げましたが、本音は必ずしも心からおめでたいとはいえない日本の状態です。経済産業省の調べでは、企業の短期的経営課題は、建設業では「官公需要の停滞」、「請負単価の低下・上昇難」、「民間需要の停滞」、製造業では「需要の停滞」、「製品単価の低下」、「製品ニーズの変化への対応」となっています。昨年も年頭の挨拶で書きましたように、ここ一番踏ん張って、乗り切ってください。

当協会は、基礎工事に関する仕事をしている人々の集まりです。近い将来、日本経済が立ち直って本格的な仕事に戻ってきたときには、まずしっかりした基礎にかかることとなります。そのときに備えて、今じっと我慢して、明日の飛躍に備える気持ちが大切だと思います。

協会もできるだけ経費を切りつめて、会員の皆さんと協力して、地道ではありますが、実のある仕事に集中していくつもりです。その意味からも、昨年までに皆で真摯な気持ちで真面目に取り組んできたことを見直し、その成果をいかに活用するかを皆で考えて、一つひとつ実行していく所存です。

まず手はじめに一昨年、会員皆さんの協力でまとめること

ができた積算資料を、国土交通省、農水省の関係方面をはじめ、各公団、さらには直接使っていただくゼネコンの皆さんにも、正しく理解してもらう努力が大切です。その際、ここ4年苦心してまとめてもらった岩盤分類委員会の結論を、同時に理解していただくことも必要です。さらには、すでに完成して皆さんのお手元に届いている**工法紹介ビデオ**（より多くの技術者に削孔技術の正しい知識を修得していただくため、「岩盤と削孔特性」、「削孔技術」を内容としたビデオ『岩盤を掘る』）および**大口径岩盤削孔工法・施工機械技術資料**（オーガ掘削工法、ロータリー掘削工法、パーカッション掘削工法、ケーシング回転掘削工法の概要、掘削工法・機械一覧の最新技術資料）を、より広く多くの人々に見ていただく努力をしていきたいと思っております。

昨年10月に協会のホームページが完成し、協会の情報および会員会社の情報を、国内はもとより海外にも発信しております。また、協会のホームページのリンクによって、会員会社のホームページを瞬時に参照することもできます。

本年の3月には、**リーダ式ケーシング回転掘削工法積算資料**（アタッチメントおよびツールの迅速な交換により、あらゆる地質に対応できるリーダ式大口径多機能ケーシング回転掘削工法の積算資料）が完成して皆さんのお手元に届きます。できるだけ多くの機会をつくって、広く多くの方々に理解していただくとともに、大いに活用していただくことを願います。

社会環境の厳しい中であって、協会は堅実に力強く一歩一歩歩んでいます。今年こそは、みんなで良い年にしましょう。

委員会活動報告

1. 運営委員会 5回（継続）

平成13年4月16日～平成13年12月14日

- (1)「大口径岩盤削孔工法・施工機械技術資料」の審議
- (2)平成12年4月から平成13年3月までの4工法施工実績表の作成、発行
- (3)「多機能リーダ式ケーシング回転掘削工法の積算資料」の審議
- (4)協会ニュースの審議
- (5)ホームページの審議
- (6)見学会の審議、開催
- (7)国土交通省の本省・地方整備局、県庁、コンサルタント宛の協会活動資料の配布先決定
- (8)協会会則の細則変更の審議
- (9)総会の開催、運営
- (10)予算の審議

2. 工法・機械開発分科会 4回

平成13年4月16日～平成13年5月30日

- (1)従来の工法・機械調査報告書に関し、新たに技術的内容を盛り込んだ「大口径岩盤削孔工法・施工機械技術資料」を作成

3. リーダ式ケーシング回転掘削工法積算資料分科会 9回（継続）

平成13年4月25日～平成13年12月17日

- (1)「多機能リーダ式ケーシング回転掘削工法の積算資料」を作成

4. 「協会ニュース」編集分科会 2回

平成13年6月12日、11月20日

- (1)協会ニュース編集計画決定
- (2)協会ニュース執筆担当者決定

5. 「ホームページ」ワーキンググループ 1回（継続）

平成13年12月3日

- (1)ホームページ掲載内容審議

6. 社日本建設機械化協会技術委員会参加 1回（継続）

平成13年12月25日

- (1)大口径岩盤削孔工法積算図書改訂・編集の審議